

I 組織の使命

観光部のミッション（使命）は、

「函館市観光基本計画」に掲げる基本理念「観光の価値を高め、函館を照らす」を実現することです。

来函観光客の満足度を向上させるため、提供するサービスやコンテンツの質を高め、函館観光全体の消費額の向上を図るとともに、観光消費の経済波及効果で市民生活を豊かにします。

II 組織の基本方針

○ 次の4項目を基本方針として、取り組みを進めてまいります。

- ・ 質の高い観光により観光消費額を向上させる
- ・ 観光の繁閑差を是正する
- ・ 函館観光を盛り上げる人を増やす
- ・ 観光を通じて函館が潤う地域づくりを進め、観光への市民理解を促進する

III 主要施策・事務事業

1 質の高い観光により観光消費額を向上させる

- (ア) 近隣の自治体との連携を深め、道南地域全体の観光資源を効果的に発信するとともに、函館を拠点とした魅力ある観光プログラムの造成を図ることで、函館市内の宿泊日数の増加に繋がります。
- (イ) 富裕層をはじめとする旅行者のニーズに対応するために、函館の自然環境や文化、歴史などを活用した付加価値が高い観光コンテンツづくりを推進し、プロモーションを行っていきます。
- (ウ) 欧米からの訪日外国人観光客の誘致を強化するほか、東京から北関東、東北を経て、本市へ至る周遊ルートを確立することで、消費単価の高い訪日外国人観光客の誘客を目指し、市内の観光消費額の向上に繋がります。
- (エ) 函館市内における観光消費機会の拡大に向けて、観光客の旅マエ、旅ナカ、旅アトの段階ごとに、ターゲットの特性に応じたツールを活用して効果的な情報発信に努めます。
- (オ) 市内の観光スポットにおけるWi-Fi環境の提供を引き続き行うほか、「縄文文化通訳ガイド人材バンク事業」におけるガイド人材の育成など、受入環境の整備を図り、訪日外国人観光客等の満足度向上を図ります。
- (カ) 北海道新幹線の延伸を見据え、道内の自治体との地域連携を図ります。
- (キ) 歴史や映画、アニメの聖地巡礼などといった一定のファン層に支えられている付加価値の高いコンテンツの推進を図ります。
- (ク) MICE誘致に向けて、観光地として高い評価を得ている観光資源を十分に活用しPRするとともに、エクスカージョンの充実にも力を入れるなど、質の高い受入環境の整備を進め、さらなる誘致に繋がっていきます。
- (ケ) ユニバーサルデザイン観光（UD観光）に関する情報を収集し、市内の事業者へ情報発信することでUD観光を推進するとともに、観光客への情報提供のあり方について検討します。

2 観光の繁閑差を是正する

- (ア) 中国、台湾、東南アジア諸国など、雪への憧れや興味が強い国や地域への冬のコンテンツ提案や、秋冬の見どころやイベントの情報発信を行い、閑散期の函館観光の起爆剤となるよう、誘致を推進します。
- (イ) 季節のみに頼ったイベントやコンテンツだけではなく、函館独自の観光資源や他のコンテンツなどと組み合わせるなど、誘客効果の高い秋・冬のイベント、コンテンツを検討します。
- (ウ) 函館観光の閑散期でもある10月～翌3月の教育旅行需要の掘り起こしを進めると同時に、歴史や文化など、教育旅行に適したコンテンツの拡充を進めます。

3 函館観光を盛り上げる人を増やす

- (ア) 函館観光に携わる観光ガイドやボランティアなどの活動について情報発信を行います。
- (イ) 誰もが函館の魅力を発信することが出来る、SNSを活用した新たな取り組みを実施するとともに、市民が函館観光に触れる機会を増やすための事業を検討します。
- (ウ) 市内の高校生や大学生が、函館の観光関連産業で働く姿を具体的にイメージする機会を持てるよう検討を進めるほか、働き方改革やデジタル・トランスフォーメーション(DX)に係る情報について、観光関連事業者へ発信します。

4 観光を通じて函館が潤う地域づくりを進め、観光への市民理解を促進する

- (ア) 出前講座などの機会や様々な媒体を通じて、函館における観光の重要性について周知を図ります。
- (イ) 各種観光プロモーションやイベント等の機会を活用し、函館で生産された農産品や水産品、土産品などの食のPRを推進していきます。

5 その他、観光振興を図るうえで必要な取り組み

- (ア) 地域の観光推進体制の強化を図る一つ的手段として、観光地域づくり法人(DMO)の設立を検討します。
- (イ) 計画の進捗管理、今後の施策の企画・立案に資する基礎的データの取得を目的とした各種調査を実施します。
- (ウ) 青森市や弘前市等と連携し、青函圏の魅力を広く発信するとともに、誘客の強化に努めます。また、東日本の新幹線沿線地域や東北地域等と連携し、国内外からの誘客を図るための広域観光ルートの創出や交流人口の拡大に努めます。
- (エ) 賑わいや活気に満ちた満足度の高いイベントを計画・実施するため、既存イベントの見直しや他のコンテンツとの連携を進めるとともに、事業者や市民・観光客への情報発信に努めます。
- (オ) 地域の観光振興の中核を担う函館国際観光コンベンション協会との連携強化のほか、市内外の関係機関等との情報交換・交流を図り、情報ネットワークの拡充・強化に努めます。